

日刊軽金属

2024 年 (令和 6 年) 5 月 30 日 (木) 第 6249 号

< 主 要 記 事 >

- <アルミ・サロン>
UACJ、アルミホイル活用したワークショップ・ツール …… 2
- 丸紅軽金属部、アルミニウム市況見通しの更新版を発表
□ 24 年需給予測、91 万 1 千^トの供給不足と前回予想から拡大 … 3
□ 24 年価格 2,332～2,900^{ドル}、25 年以降 3 千^{ドル}も … 4～5
- 長住協が総会、新会長に北村浩幸積水ハウス業務役員就任 …… 5
- 伯アルブラスの 23 年業績、営業損 3 億 3 6 百万リアル
価格低迷・原料高等影響、アルノルテ営業損 17 億リアル … 6～7
- アルブラスおよびアルノルテの 2023 年 12 月期決算概要 …… 6
- 日本アマゾンアルミの 23 年業績、営業損 7 億 1 9 百万円 …… 7
- 4 月末のアルミ新地金国内港湾在庫 30 万 8 1 百^トに減
横 15 万 1 0 百^ト、名 13 万 8 3 百^ト、阪 1 万 8 8 百^ト …… 8
- 国内主要 3 港のアルミニウム新地金在庫と輸入通関推移 …… 8
- サッシ協理事長・開口部協会長に平能正三三協立山社長
懇親会にて挨拶、「開口部を通して国策に貢献していく」 …… 9
- 日本軽金属HD主要事業会社の 2024 年度業績予想
フルハーフ黒字化、アクトは前期に水面浮上・今期も増益 …… 10
- 日軽金HD関係会社役員人事、加工開発HDの社長に早乙女氏 …… 11
- 日本軽金属の人事異動、2024 年 6 月 25 日付 …… 11
- 三協立山の組織変更と人事異動、2024 年 6 月 1 日付 …… 11～12
- リョービの役員人事異動、2024 年 8 月 1 日付 …… 12
- 東洋アルミ、付加価値デザインとものづくりの展示会出展 …… 13
- <表> LME 相場・国内地金市況推移／為替相場推移／LME 在庫推移 … 13

軽さを重く考える

日軽金はこれからも、人とアルミの
未来を見つめつづけます。



日本軽金属
NIPPON LIGHT METAL

発 行 所 軽 金 属 工 業 新 聞 社

編集・発行人 保坂 圭輝

〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目12番7号

明豊パークタワービル5階

電 話 03-3552-6801 F A X 03-3552-6803

メール office@keikinzoku.co.jp

取 引 銀 行 みずほ銀行／りそな銀行

三 菱 U F J 銀 行

購読料(前金・税込)半年54,000円、1年105,840円

＜アルミ・サロン＞

UACJ、アルミホイル活用したワークショップ・ツール

UACJは5月28日、デザイン・コンサルティング会社hyphenate（ハイフネイト）と共同で、アルミホイルを用いてコミュニケーション活性化を図るワークショップ・ツール「ワークショップの素」を開発、5月からトライアル販売を開始したことを明らかにした。このプロジェクトは、UACJの社内ベンチャー制度「UACJ Innovators」により実現したもので、同制度のプロジェクト化第3弾となる。

「ワークショップの素」は、コミュニケーション活性化やチームビルディングといった社会的な課題解決に貢献したいという思いを持った開発者が、体験価値をデザインするハイフネイトと話をする中で、アルミホイルを工作に使うというアイデアを得て開発に至ったもの。「ワークショップの素」にはアルミホイルとルールブックなどが入っており、実際のワークショップでは、研修開始時のアイスブレイク（初対面の人同士が会った時に緊張をほぐすための手法）として、自身を動物に見立ててアルミホイル1枚で自分をイメージするその動物を表現するといったワークを実施する。UACJによる実証実験の結果では、通常のアイスブレイクでは他者への質問やコメントが平均1～2回であることに対し、「ワークショップの素」を使用することで平均5回に増加した。

「ワークショップの素」の特長の1つに“アルミホイルを使用する”ということがある。特別な道具を使うことなく簡単に加工でき、形状を維持できるため、立体的なものを作ることが容易なほか、清潔で周囲を汚さずに済むため、工作の材料に適している。またアルミホイルでの工作は多くの人にとって初めての体験となるため、技術の差に関係なく表現でき、参加者の創造性が促される。加えて、使用後のアルミホイルは返送してもらうことで水平リサイクルすることができ、環境面にも配慮されている。UACJでは今回のトライアル販売の結果を分析し、アルミホイルだけでなく、ルールブックや解説、ファシリテーションなどをセットにしたパッケージ商品として販売することを予定している。（Y）

丸紅軽金属部、アルミニウム市況見通しの更新版を発表 2024年の需給バランスは91万1千トンの供給不足に

丸紅の軽金属部地金課はこのほど、アルミニウム市況見通しの更新版を発表した。2023年末に発表したアルミニウム市況見通しを、足元の状況を鑑みて更新したもの。その中から、世界のアルミ新地金需給予測およびアルミ新地金価格予測を紹介する。

24年の需給バランス、91万1千トンの供給不足と前回予想から拡大

2024年の最新需給予測は、供給が前年比2.5%増の7,244万9千トン、需要が同比3.7%増の7,336万トンで、需給バランスは91万1千トンの供給不足と前回予想の38万5千トンから拡大する見込み。世界の2024年1～3月のアルミ新地金生産量は前年同期比4.4%増となる1,890万トン、うち中国の新地金生産量は同比5.8%増となる1,060万トンだった。供給面では、中国雲南省では渇水に伴い2023年11月から年間約52万トン相当の減産を実施しているが、6月からは通常生産に戻る見通し。またトリメット・アルミがドイツおよびフランスにある製錬所の再稼働を発表、2025年中旬までに30万トンの生産増加を予定している。そのほか、欧州で停止・減産中の製錬所（60万トン）は2025年以降に再稼働が見込まれている。供給不足を補うには再生塊の代替が不可欠であるが、そ（次ページへつづく）

2024～27暦年の世界アルミニウム新地金需給バランス見通し (単位:千トン)

区 分	2023年実績		2024年見込		2025年見込		2026年見込		2027年見込	
	数 量	増減率%	数 量	増減率%	数 量	増減率%	数 量	増減率%	数 量	増減率%
世界供給合計	70,670	2.7	72,449	2.5	74,471	2.8	75,542	1.4	76,587	1.4
中国供給	41,576	3.7	42,775	2.9	43,189	1.0	43,205	0.0	43,330	0.3
中国以外供給	29,094	1.2	29,674	2.0	31,282	5.4	32,337	3.4	33,257	2.8
世界需要合計	70,761	2.2	73,360	3.7	75,412	2.8	76,916	2.0	78,095	1.5
中国需要	42,879	5.2	44,448	3.7	44,928	1.1	45,054	0.3	45,134	0.2
中国以外需要	27,882	-2.1	28,912	3.7	30,484	5.4	31,862	4.5	32,961	3.5
世界需給バランス	-91	—	-911	—	-941	—	-1,373	—	-1,508	—
中国バランス	-1,303	—	-1,673	—	-1,740	—	-1,848	—	-1,804	—
中国以外バランス	1,212	—	762	—	798	—	475	—	296	—

(注) 丸紅軽金属部資料による。増減率は前年比。△印はマイナス。

の実現には回収や技術革新など課題も多く、短期的な影響は限定的と見ている。

需要面では、中国の2024年1～3月の不動産への投資額は前年同期比9.5%減となったが、自動車生産台数は同比6.4%増、太陽光発電設備は45GW導入されて合計660GW（前年比55%増）に達するなど堅調で、今後もアルミ需要の増加が見込まれている。そうした状況の中で、中国の1～3月のアルミ新地金輸入量は前年同期比224%増となる72万1千トンに達し、過去最高水準となっている。EUでは、1～3月の自動車登録台数は280万台で前年同期比4.4%増となり、EVの需要減退が見られる中でアルミ需要を下支えしている。2025年以降の需要は、新興国の成長に加え、政府主導のEV普及、インフラプロジェクトの実施、脱プラの推進による包装容器のアルミ化により堅調に推移すると見ている。

24年価格予想2,332～2,900ドル、25年以降3,000ドルも

2024年に入ってLMEアルミ新地金価格はボーキサイトやアルミナの供給懸念（ギニア、豪州、中国等）、ロシア産メタルの追加制裁、中東での地政学リスク上昇、過去最高値を更新した銅と同様グリーン需要の拡大期待を背景に一時トン当たり2,700ドルまで上昇した。米FRBが年内利下げに踏み切れば、年末にかけてアルミ価格上昇のサポート要因となり得ると見ている。中長期では、供給はアルミ価格の上昇を背景に欧州製錬所の再稼働や増産が見込まれるが、中国政府主導でのアルミ製錬能力の上限堅持、再エネ電源不足により新規（次ページへつづく）

2024～27年のアルミ新地金LME価格およびプレミアム予想（単位：米ドル）

区 分		2024年				2025年	2026年	2027年
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～12月	1～12月	1～12月
LME 価格	高値	2,398.00	2,800.00	2,800.00	2,900.00	3,300.00	3,800.00	4,000.00
	平均	2,245.14	2,600.00	2,600.00	2,700.00	2,800.00	3,300.00	3,500.00
	安値	2,153.00	2,332.00	2,400.00	2,500.00	2,300.00	2,800.00	3,000.00
プレミアム		90	145～146.5	120～180	100～200	100～200	100～250	100～250

(注)①丸紅軽金属部資料による。②プレミアムは対日長契プレミアム。③2024年1～3月のLME価格と2024年1～3月および4～6月のプレミアムは実績。

製錬所の開発や既存製錬所の拡張は限定的と見る。一方で、需要は新興国の経済成長に加え、先進国のEV普及、再エネ化加速、脱プラの推進、供給が懸念される銅からの代替需要を受けて、アルミ需要は堅調な増加が見込まれるとしている。

その結果、2027年までのLMEアルミ価格および対日プレミアム予測は前ページ表の通りで、2024年4月～12月LMEアルミ価格予測は2,332ドル～2,900ドルと見ている。限定的な供給能力を背景に需給バランスの逼迫が材料視され、2025年以降には3,000ドルに達すると予想している。高値シナリオとしては、アルミサプライチェーンにおける供給懸念、中国渾水による生産減、地政学リスクの上昇、銅価格の更なる高騰を挙げている。一方、安値シナリオとしては米国利下げ開始後退、中国製錬能力の上限撤廃、水平リサイクルに向けた技術革新（スクラップ・再生塊）、気候変動対策の後退を挙げている。

長住協が総会、新会長に北村浩幸積水ハウス業務役員就任



長期使用住宅部材標準化推進協議会は5月23日に定時総会を開催し、新会長に北村浩幸積水ハウス業務役員CS推進部長（写真）が就任した。記者会見で北村会長は、「当協議会は長期にわたって住宅のメンテナンスを容易にするために、部材・部品の寸法等を標準化することを目的としている。これまで

築き上げてきた実績を踏まえ、しっかりと会員の拡大、会員企業内のC j K部材の採用率向上、住宅関連業界との連携をさらに強化するとともに、一般の消費者の皆様への認知度向上を図り、C j K部材の普及拡大により一層取り組んでいきたい。第9期の活動としては、活動基盤強化（会員数111社→118社）、標準化推進（標準化品目数147品目→150品目）、C j K部材の生産品目拡大（C j K部材の製品数531品目→580品目）、C j K部材のホームページ掲載製品数拡大（C j K部材HP掲載製品数190品目→220品目）を推進する」と述べた。

伯アルブラスの23年業績、営業損3億36百万リアル 価格低迷・原料高等影響、アルノルテ営業損17億リアル

日本アマゾンアルミニウムはこのほど、同社が出資しているブラジルのアルミニウム製錬会社「アルブラス」(資本金11億3千万リアル=ノルスク・ハイドロ51%、NAAC49%出資)と、同社を含む日本企業3社が出資しているアルミナ精製会社「アルノルテ」(資本金37億9千万リアル=ノルスク・ハイドログループ62.13%、グレンコア30.00%、CBA3.03%、三井物産2.22%、NAAC2.17%、JAIC0.45%出資)の2023年12月期(1~12月)業績を明らかにした。

アルミ製錬会社「アルブラス」の2023年業績は、売上総損失8,150万リアル(1,680万米ドル)、営業損失3億3,550万リアル(6,930万米ドル)、税引後損失2億7,180万リアル(5,620万米ドル)を計上した。前年のライン停止から復旧したことで生産量は44万89百トンで前年比10.3%増となったが、アルミ地金販売価格の低迷と主要原材料コストの高止まりにより大幅減益となった。アルミ地金生産量のうち、NAAC権益分は21万6千トン(前年実績19万3千トン)で、このうち日本向けに16万6千トン(同13万2千トン)を出荷、残りはブラジル経済への貢献および輸出分に課される税金相殺を目的に、ブラジル国内において販売した。(次ページへつづく)

アルブラスおよびアルノルテの2023年12月期決算概要 (単位:百万リアル)

区 分	アルブラス			アルノルテ		
	22年12月期 実 績	2023年12月期		22年12月期 実 績	2023年12月期	
		実 績	増減率%		実 績	増減率%
売 上 総 利 益	771.5	△81.5	—	△254.7	△949.4	—
営 業 利 益	676.9	△335.5	—	△1,152.6	△1,697.2	—
税 引 前 利 益	571.1	△393.7	—	△1,196.2	△1,690.6	—
税 引 後 利 益	495.2	△271.8	—	△1,555.6	△1,885.2	—
ドル換算(百万 ドル)	94.9	△56.2	—	△298.0	△389.5	—
生 産 量 (千 トン)	406.8	448.9	10.3	6,193	6,185	△0.1

(注)①ドル換算は期末レートによる。2023年末のリアル/ドルレート=4.84リアル(2022年末=5.22リアル)。②△印はマイナス。③増減率は前期比。

一方、アルミナ精製会社「アルノルテ」の2023年業績は、売上総損失9億4,940万リアル(1億9,620万米ドル)、営業損失16億9,720万リアル(3億5,070万米ドル)、税引後損失18億8,520万リアル(3億8,950万米ドル)を計上した。生産量は618万5千トンで前年比0.1%減と前年並みだったが、前年から継続しているアルミナ市況低迷により損失幅が拡大した。なお、生産量のうちアルブラス向け出荷量は86万2千トンだった。

日本アマゾンアルミの23年業績、営業損7億19百万円

国際協力機構(JICA)など14社が出資する日本アマゾンアルミニウムの2023年12月期(1～12月)業績は、営業収益ゼロ、営業損失7億19百万円、経常損失6億94百万円、純損失24億45百万円を計上した。出資するブラジル2社からの配当金がなかったことから営業損失・経常損失を計上したことに加え、アルノルテ株の減損処理に伴う投資有価証券評価損17億50百万円を特別損失に計上したことから、純損失が拡大した。

日本アマゾンアルミニウムの2023年12月期決算概要 (単位:百万円)

区 分	2021年12月期 実 績	2022年12月期 実 績	2023年12月期	
			実 績	増減率%
営 業 収 益	3,302	1,613	0	△ 100.0
うち受取配当金	3,302	1,613	0	△ 100.0
営 業 費 用	648	659	719	9.1
営 業 利 益	2,654	954	△ 719	—
営 業 外 収 益	235	15	28	86.7
営 業 外 費 用	0	82	3	△ 96.3
経 常 利 益	2,889	887	△ 694	—
特 別 損 失	—	—	1,750	—
税引前当期純利益	2,889	887	△ 2,444	—
法 人 税 等	1	1	1	—
法 人 税 等 調 整 額	—	—	—	—
当 期 純 利 益	2,888	886	△ 2,445	—
期 末 利 益 剰 余 金	2,888	1,341	△ 1,103	—
翌年度配当支払額	2,211	0	0	—

(注)①2023年末の円/米ドルレート=141.82円(2022年末=132.70円)。②増減率は前期比。③△印はマイナス。

4月末のアルミ新地金国内港湾在庫30万81百トに減 横15万10百ト、名13万83百ト、阪1万88百ト

2024年4月末現在の国内主要3港（横浜・名古屋・大阪）におけるアルミニウム新地金港湾在庫は30万8,130トンで前3月末比7,370トン減少、3ヵ月連続で前月末水準を下回った。

港湾別内訳は下表の通りで、横浜は15万1,000トンで前3月末比2,800トン増と2ヵ月ぶりの増加。名古屋は13万8,300トンで同比9,400トン減と3ヵ月連続の減少。大阪は1万8,830トンで同比770トン減と4ヵ月ぶりの減少。

国内主要3港のアルミニウム新地金在庫と輸入通関推移 (単位:千トン)

区 分	アルミ新地金港湾在庫量				アルミ新地金 輸入量	
	横 浜	名古屋	大 阪	計		
2022年	4月	126.20	200.90	16.90	344.00	118.29
	5月	129.80	211.30	18.30	359.40	124.83
	6月	133.00	217.90	18.90	369.80	130.71
	7月	141.10	206.40	16.50	364.00	111.20
	8月	158.50	222.50	18.80	399.80	114.50
	9月	157.60	203.10	19.00	379.70	104.85
	10月	160.80	195.90	20.50	377.20	102.49
	11月	161.70	196.90	19.95	378.55	82.39
	12月	163.60	196.80	21.43	381.83	100.03
2023年	1月	164.20	206.70	21.60	392.50	109.03
	2月	170.40	191.00	21.00	382.40	71.97
	3月	165.90	180.90	23.90	370.70	90.08
	4月	165.30	171.40	21.70	358.40	64.48
	5月	162.90	167.20	23.90	354.00	96.03
	6月	161.20	173.40	22.89	357.49	98.93
	7月	157.90	171.90	20.80	350.60	86.30
	8月	160.20	179.70	20.80	360.70	95.63
	9月	153.00	175.70	19.60	348.30	76.88
	10月	144.80	177.00	19.50	341.30	86.65
	11月	141.30	169.90	18.83	330.03	79.06
	12月	138.30	161.20	15.10	314.60	77.22
2024年	1月	148.50	166.70	17.71	332.91	96.57
	2月	154.10	157.90	18.88	330.88	92.38
	3月	148.20	147.70	19.60	315.50	54.57
	4月	151.00	138.30	18.83	308.13	—

(注)①港湾在庫量は一部推定を含む。②アルミ新地金輸入量は純度99%以上。

サッシ協理事長・開口部協会長に平能正三三協立山社長 懇親会にて挨拶、「開口部を通して国策に貢献していく」



日本サッシ協会と建築開口部協会は5月28日に定時総会を開催し、両協会の新理事長・新会長に平能正三三協立山社長が就任した。総会後の懇親会で挨拶した平能新理事長・会長(写真)は、次の通り所信を述べた。

「業界を取り巻く外部環境は、資材の高騰で住宅価格が高止まり、物価上昇に伴う実質賃金の減少と消費者マインド悪化の影響により、新設住宅着工戸数が低調に推移するなど厳しい状況となっている。また2050年カーボンニュートラル実現に向けた取り組みおよび価格転嫁や取引適正化、物流問題、人材確保、DXなどへの対応についても大きな課題となっている」。

「一方、行政による大型補助事業“住宅省エネキャンペーン”が今年度も継続されることとなり、今後もしリフォーム需要の拡大が見込まれる。さらには、来年4月からの全ての新築住宅・非住宅への省エネ基準適合義務化、窓の性能表示制度の見直し、新たな建材トップランナー制度の施行もあり、市場の活性化が期待されるとともに、建物の省エネ推進に貢献可能な業界であることが求められている。両協会としても、引き続き開口部を通して国策に貢献するとともに省エネ化の普及啓発に努めていく」。

「日本サッシ協会では昨年に流通会員制度を立ち上げ、現在80社が加盟している。サッシ流通業・販売業の流通会員が事業展開・経営基盤の強化を行う上で有益な情報や各種サービス・コンテンツの提供を行うなど、価値ある活動を推進していく。建築開口部協会では昨年に学校の窓の専門家による点検制度を開始し、多くの会員が点検管理士・点検事業者に登録している。学校の窓点検制度の周知普及活動を通じて登録事業者の増強を図るとともに、各種講習会や情報発信の充実などのサービス向上に努めていく」。

日本軽金属HD主要事業会社の2024年度業績予想

フルハーフ黒字化、アクトは前期に水面浮上・今期も増益

日本軽金属ホールディングスはこのほど、主要事業会社の2023年度（2024年3月期）業績と2024年度（2025年3月期）予想を下表の通り明らかにした。日本軽金属の23年度業績は減収営業増益。24年度もほぼ横這いを見込む。半導体装置向け厚板の回復は24年度下期以降を見込むが、本格回復後は長期的な需要継続での成長を見込む。車載用電池材は需要堅調で販売は堅調に推移する見込み。

東洋アルミの23年度業績は増収増益。医薬包材向け加工箔、自動車塗料向けペーストなどが堅調だった。24年度は増収減益を予想。日軽エムシーアルミの23年度業績は減収増益。自動車生産の回復によるもので、24年度も引き続き販売堅調で増収増益を見込む。日本フルハーフの23年度業績は増収増益。トラックシャシー供給回復による販売増などが寄与、24年度も増収増益を予想。日軽金アクトの23年度業績は減収増益で水面に浮上。半導体製造装置向けの低迷が続くものの、トラック架装向け販売回復が寄与、24年度は事業移管影響で減収となるが増益を見込む。日軽パネルシステムの23年度業績は増収増益。需要堅調が継続、24年度も前期並みを見込む。日軽金ALMOの23年度実績（下期のみ）は赤字を計上。24年度は増収減益を見込む。

日軽金HD主要事業会社の2024年3月期業績と次期予想

(単位:億円)

区 分		23年3月期 通期実績	24年3月期 通期実績	25年3月期 通期予想	区 分		23年3月期 通期実績	24年3月期 通期実績	25年3月期 通期予想
日 本 軽金属 (単体)	売上高	1,553	1,415	1,447	日軽金 アクト (連結)	売上高	527	423	337
	営業益	29	32	33		営業益	△13	0	11
	経常益	72	67	63		経常益	△9	1	11
東 洋 アルミニウム (連結)	売上高	1,008	1,056	1,070	日軽 パネルシステム (連結)	売上高	309	329	350
	営業益	9	55	49		営業益	41	47	43
	経常益	25	61	48		経常益	41	48	44
日 軽 エムシーアルミ (連結)	売上高	1,038	999	1,068	日軽金 ALMO (連結)	売上高	—	161	321
	営業益	23	24	27		営業益	—	△7	△11
	経常益	28	30	31		経常益	—	△8	△15
日 本 フルハーフ (連結)	売上高	544	675	717	(注)日本軽金属の素形材事業と熱交事業、日軽金アクトの自動車関連は2024年3月期下期から日軽金ALMOへ移管。△印はマイナス。				
	営業益	△54	△10	10					
	経常益	△54	△11	10					

日本軽金属HD関係会社役員人事異動 日軽金加工開発HDの社長に早乙女氏

＜日軽金加工開発ホールディングス／6月21日付＞▽代表取締役社長、日本軽金属ホールディングス取締役兼日本軽金属取締役早乙女雅人▽退任（代表取締役社長）日本軽金属ホールディングス取締役伊藤嘉昭。

＜日本フルハーフ／6月19日付＞▽取締役、温度管理者ビジネスユニットリーダー伊藤信二▽退任（取締役）服部敏秀＝フルハーフ北海道代表取締役社長就任。

＜日軽金アクト／6月21日付＞▽代表取締役社長（取締役）五百竹秀夫▽退任（代表取締役社長）日本軽金属ホールディングス取締役伊藤嘉昭。

＜理研軽金属工業／6月21日付＞▽代表取締役社長（非常勤取締役兼日軽形材代表取締役社長）福富俊輔▽退任（代表取締役社長）入山豊＝日軽エンジニアリング代表取締役社長就任。

＜日軽形材／6月21日付＞▽代表取締役社長（取締役）佐々木英孝▽退任（代表取締役社長）福富俊輔＝理研軽金属工業代表取締役社長就任。

＜日本電極／6月19日付＞▽執行役員、事業戦略室長兼熱処理ビジネスユニットリーダー谷津貴之▽退任（執行役員）本間健二郎。

＜日軽産業／6月24日付＞▽代表取締役社長、日本軽金属ホールディングス執行役員兼日本軽金属常務執行役員杉山和義▽取締役、内部統制管理室長千々松和子▽退任（代表取締役社長）星直之＝常勤顧問就任。

＜日軽物流／6月21日付＞▽取締役、企画管理部長兼人事部長渋谷直宏▽退任（取締役会長）柴田正昭。

＜東陽理化学研究所／6月21日付＞▽取締役、営業部長奥中敦。

＜日軽エンジニアリング／6月20日付＞▽代表取締役社長（理研軽金属工業代表取締役社長）入山豊▽退任（代表取締役社長）青山茂樹＝常勤顧問就任▽退任（常務取締役）水野淳▽退任（取締役）渡

辺敏彦。

＜日軽北海道／6月21日付＞▽退任（取締役）菊地正樹。

日本軽金属の人事異動、6月25日付

＜人事異動／6月25日付＞▽兼電極箔事業部長、電極箔工場長斉藤克弥▽環境保全・安全衛生統括部副部長（製品安全・品質保証統括部副部長）北口崇。

三協立山の組織変更と人事、6月1日付

＜組織変更／6月1日付＞▽三協アルミ社エクステリア事業部に「エクステリア業務管理部」を新設。▽三協アルミ社各商品部の商品開発業務を開発統括部に移管。

＜人事異動／6月1日付＞▽知財部担当部長（三協アルミ社エクステリア商品部エクステリア商品開発二課）保坂純平▽改革推進部長（三協アルミ社福岡西工場長）今村正樹▽デジタル改革推進部長（三協アルミ社総合販売推進部長）田中聡一▽技術研究部長（技術開発部長）庵真砂代▽システム管理部長（システム管理部管理課長）光岡知也▽東京総務部長（総務部大阪総務経理課長）山本徹。

【三協アルミ社】▽事業統括部事業企画部長兼ビル事業部ビル事業企画部長（ビル事業企画部長）油谷信一▽事業管理部長（事業企画部長）竹村公秀▽総合販売推進部長（MONOS推進部長）柿谷優▽販売会社管理部長（販売会社事業管理部長）谷内田勉▽関東ビル建材支店副支店長兼ビル建材二部長（関東ビル建材支店横浜ビル建材部長）田村勇人▽関東ビル建材支店埼玉ビル建材部長（関東ビル建材支店埼玉ビル建材部ビル建材課長）藤井均▽関東ビル建材支店横浜ビル建材部長（関東ビル建材支店横浜ビル建材部ビル建材課長兼STER課長）生駒宏樹▽北信越支店新潟ビル建材部担当部長（北信越支店長野ビル建材部ビル建材課長）織田武範▽東海ビル建材支店ビル建材部長（東海ビル建材支店ビル建材部ビル建材一課長）笠井大治▽東海ビル建材支店（次ページへつづく）

S T E R部担当部長（東海ビル建材支店ビル建材部
ビル建材二課長）沢田大輔▽兼九州支店副支店、九
州支店ビル建材部長大橋成人▽ビル事業部副事業部
長兼S T E R部長（東海ビル建材支店副支店長）西
岡義実▽ビル建材部長兼特建部長（関東ビル建材支
店ビル建材二部長）溝口幸宏▽東北支店住宅建材部
長（東北支店青森営業所長）熊谷雅之▽関東住宅建
材支店副支店長（住宅マーケティング推進部長）中
森伸児▽関東住宅建材支店住宅建材部長（関東住宅
建材支店直需部長）岡本敬二▽関東住宅建材支店茨
城住宅建材部担当部長（関東住宅建材支店横浜住宅
建材部住宅建材課長）杉林準▽関東住宅建材支店宇
都宮住宅建材部長（関東住宅建材支店宇都宮住宅建
材部特販課長）畑篤志▽関東住宅建材支店群馬住宅
建材部長（関東住宅建材支店群馬住宅建材部住宅建
材課長兼特販課長）小山和洋▽関東住宅建材支店埼
玉住宅建材部長（関東住宅建材支店千葉住宅建材部
特販課長）野口博之▽関東住宅建材支店特需部長（関
東住宅建材支店直需部特需課長）柴政和▽北信越支
店新潟住宅建材部長（北信越支店北陸住宅建材部長）
佐賀諭▽北信越支店北陸住宅建材部長（関東住宅建
材支店茨城住宅建材部長兼宇都宮住宅建材部長）吉
野哲夫▽関西住宅建材支店副支店長兼京都住宅建材
部長（関東住宅建材支店群馬住宅建材部長）坂下幹
夫▽関西住宅建材支店特需部長（関西住宅建材支店
直需部長）谷内田秀樹▽関西住宅建材支店業務部長
（中四国支店四国住宅建材部長）稲又秀明▽中四国
支店四国住宅建材部担当部長（中四国支店松山営業
所長兼四国住宅建材部特販課長）坪倉哲也▽住宅事
業企画部長（北信越支店新潟住宅建材部長）中田剛
▽住宅業務管理部長（住宅事業企画部長）菓子慎介
▽北海道支店エクステリア部長（関東エクステリア
建材支店横浜エクステリア部長）高木亮洋▽関東エ
クステリア建材支店千葉エクステリア部長（関東エ
クステリア建材支店茨城エクステリア部長）石克
利▽関東エクステリア建材支店横浜エクステリア部
長（関東エクステリア建材支店エクステリア部ウォ
ールエクステリア課長兼ホーム建材課長）福田雅一
▽関東エクステリア建材支店業務部長兼マーケティ

ング推進部長（関東エクステリア建材支店千葉エ
クステリア部長）足立政嗣▽北信越支店副支店長兼富
山エクステリア部長（北海道支店エクステリア部長）
前田伴実▽北信越支店新潟エクステリア部長（北信
越支店富山エクステリア部長）分家哲也▽北信越支
店長野エクステリア部担当部長（北信越支店長野エ
クステリア部エクステリア課長）中野祥明▽東海エ
クステリア建材支店パブリックエクステリア部長
（関西エクステリア支店エクステリア特品課長）漁
達志▽関西エクステリア建材支店エクステリア部担
当部長（エクステリア特販部エクステリア特販課長）
梅澤尚之▽関西エクステリア建材支店パブリックエ
クステリア部長（関西エクステリア建材支店パブリ
ックエクステリア部公共エクステリア課長）山本聡
▽関西エクステリア建材支店神戸エクステリア部長
（関西エクステリア建材支店神戸エクステリア部エ
クステリア課長）遠藤尚樹▽開発統括部商品開発一
部長（エクステリア事業部エクステリア商品部長）
エクステリア事業部副事業部長坂田歩男▽エクステ
リア事業企画部長（関東エクステリア建材支店業務
部長）浅井雅也▽エクステリア業務管理部長（エク
ステリアマーケティング推進部サポートセンター課
長）茂在利男▽兼商品技術部長、開発統括部副統括
部長岩間一朗▽商品管理部長（開発管理部長）大友
敏克▽商品開発二部長（ビル商品部長）小林光裕▽
商品開発三部長（住宅商品部長）佐伯正義▽福光工
場副工場長（福岡西工場管理課長）上野敏一。

【三協マテリアル社】▽生産管理部長（生産管理
部生産企画課長）木下裕三。

【タテヤマアドバンス社】▽首都圏支店CVS二
部長（首都圏支店CVS二部CVS営業課長）金刺
大作▽開発推進部長（商業施設開発部長）夏野浩司
▽商業施設開発部長（商業施設開発部商業施設開発
一課長）斉藤真二。

リョービの役員人事異動、8月1日付

<役員人事異動/8月1日付>▽兼利優比建築科
技[大連] 董事長、執行役員東京支社長清水太一。

東洋アルミ、付加価値デザインとものづくりの展示会出展

東洋アルミニウムは、6月7日(金)に東京都立産業貿易センター浜松町館4階展示室にて開催される「付加価値ある意匠デザインと実現するものづくり技術2024」に昨年に引き続き出展する。同展は、デザインのための素材・加工・成形・加飾・表面処理などの技術や、試作・製品開発支援ソリューションを展示とプレゼンテーションで紹介する技術相談会。東洋アルミは、平面に模様を立体的に浮かび上がらせることができる構



造発色磁性アルミニウム顔料(写真)、高級感を演出できるヘアーライン加工のアルミ箔、白いアルミ箔を紹介する。

アルミ地金・二次合金のLME相場と新地金国内スポット価格

区 分	国内直物 (千円/t)	LME相場(\$/t)					
		アルミ地金			アルミ合金		
		現 物	3ヵ月先物	現先値差	現 物	3ヵ月先物	現先値差
5月24日	475	2,599.0	2,650.0	C51	1,820.0	1,820.0	0
5月27日	481	休	休	—	休	休	—
5月28日	481	2,653.0	2,704.0	C51	1,850.0	1,850.0	0
5月29日	492	—	—	—	—	—	—

(注)国内直物価格は持込・翌月末払い120日ベース。現先値差は現物/3ヵ月先物比でCはコンタンゴ、Bはバックワード。

東京外国為替市場の日本円・米ドル相場推移

(銀行間直物:円/\$)

区 分	終 値	寄 付	高 値	安 値	中 心
5月24日	157.04 ~ 157.06	156.98 ~ 157.01	156.92	157.15	157.07
5月27日	156.90 ~ 156.93	156.84 ~ 156.87	156.67	156.97	156.73
5月28日	156.88 ~ 156.90	156.83 ~ 156.85	156.63	156.95	156.80

LMEアルミニウム新地金・合金地金在庫推移

(単位:トン)

区 分	5月16日	5月17日	5月20日	5月21日	5月22日	5月23日	5月24日
新地金在庫	1,093,275	1,092,800	1,092,300	1,125,175	1,127,775	1,124,700	1,121,500
前日比	0	-475	-500	+32,875	+2,600	-3,075	-3,200
合金地金在庫	1,580	1,580	1,580	1,580	1,580	1,580	1,580
前日比	0	0	0	0	0	0	0